

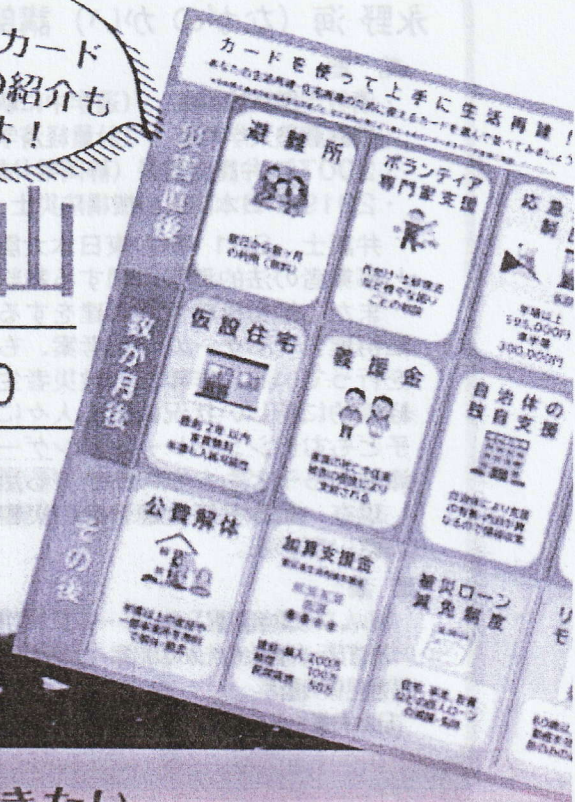
和歌山イコール会議
第7回 (オンライン)

防災セミナーin和歌山

2021. 6.27 (日) 10:00~11:30

参加(無料)
先着 50人

ボードカード
ゲームの紹介も
あるよ!



もしもに備えて、知っておきたい
被災後の「生活再建」について学びませんか!

※セミナーは、オンライン会議ツール「ZOOM」を使って開催します。

1 「生活再建カードから学ぶ被災後の支援制度のあれこれ」 60'

講師 永野 海 さん

(弁護士・日本防災士機構防災士/ふじのくに防災士)

2 「災害時の必需品『マイ・トイレ』の作り方」 20'

講師 市場 美佐子 さん

(防災士、和歌山イコール会議/防災部会長)

▼ お申し込み・お問い合わせ先 ▼

6月25日 (金) 締切

◎ 申込先 (次をクリック) ▶ <https://forms.gle/hceVkXgehS7hdTXN6>

ご参加は、和歌山県内でお住まい又はお仕事をされている方とさせていただきます。

主催：和歌山イコール会議 (防災部会・地域づくり部会) 後援：和歌山県

◎ お問い合わせ先 E-mail: wec_1201@yahoo.co.jp

電話: 090-1447-0361 (防災部会) FAX: 073-487-3229 (事務局)

◎ 団体の詳細 ▶ 和歌山イコール会議 (団体ID: 1102238282)



申込 QRコード



永野 海 (ながの かい) 講師のプロフィール

略 歴

- ・清教学園高校卒業 (通学中に阪神淡路大震災を経験)
- ・慶應義塾大学卒業 (計量経済学専攻)
- ・2007年 弁護士登録 (静岡県弁護士会)
- ・2019年 日本防災士機構防災士/ふじのくに防災士



弁護士。2011年の東日本大震災後、南相馬市の避難所での支援活動を行った経験から、自然災害と事業者の法的責任に関する裁判例の分析を行い災害リスク対策支援のために取り組む。

また、被災後の生活再建をする上で活用できる支援制度を具体的に考えるためのツール「被災者生活再建カードゲーム」を考案、もしもの時への知識の備えとして活用を広めようと全国で多数の講演を行っている。昨年は、被災者生活再建カードの特別編として「新型コロナ対策支援カード」を発案、経済的に苦しい状況にある人々に支援制度の全体像をやわらかく伝えられないかと作成した。さらに、子どもむけシュミレーションゲーム「めざせ！津波避難マスター(2021年2月版)」を考案し、津波から子どもたちの命を守る活動にも取り組んでいる。

現在、日本弁護士連合会の災害復興支援委員会副委員長ほか、弁護士として多数の災害関係の役職に就いている。

著 書

- 『みんなの津波避難22のルール3つのSで生き残れ!』(合同出版)2021.3、『防災・減災の法務』共著(有斐閣)2021.3、
- 『改訂版 弁護士のための水害・土砂災害対策QA』共著・編集委員(第一法規)

災害関係の職務

日本弁護士連合会 災害復興支援委員会 副委員長、関東弁護士会連合会 災害対策委員、静岡県弁護士会 災害対策委員

オンライン開催について

ご自宅や勤務先など、インターネット環境のあるところから、パソコンやスマートフォン、タブレット端末などから、本セミナーの配信(zoomソフトTM 使用)をご視聴いただけます。

- * ZOOMソフト(無料)のダウンロードが必要となります。事前にインストールを済ませて頂くことを推奨します。
- * イコール会議会員向け「オンライン視聴会場」和歌山ビッグ愛9階 りいぶる会議室A(和歌山市手平2-1-2)を設ける予定です。(コロナの感染状況により、視聴会場の開設を中止する場合があります)
- * 視聴にかかる*通信料は参加者のご負担となります。

(*インターネットの有線接続またはWi-Fi 接続以外では、別途ポケット通信料が発生する場合があります)

参加(視聴)方法 (参加申込サイト URL) <https://forms.gle/hceVkJXgehS7hdTXN6>

上記の申込サイトにアクセスし、必要事項を記入後、内容をご確認のうえ、送信ボタンでお申込みください。

※募集定員になり次第、申し込みを終了させていただきます。

開催の前日まで、申込時に記入いただいたメールアドレスに、セミナー視聴用ZOOMサイトのURL・ID・パスワードを送信します。当日は、送信されたURLをクリックし、ZOOMサイトから「ミーティングに参加」を選択し、送信されたIDとパスワードを入力してセミナーにお入りください。

第7回 防災セミナーについて

県内自治体や自治会組織などを中心に、日頃から地震や津波、台風・洪水等の災害に備えようと様々な研修や訓練が行われています。一方、私達イコール会議は、自治体と連携のもと、住民の皆様によりわかりやすく簡単に実践していただける知識やノウハウの普及に、災害弱者の視点から活動を続けています。

ところが、昨年来のコロナウイルス感染拡大から、避難時の食事づくりなどのワークを行うことが難しくなっています。

そこで今回、地域や自治会で防災の役割を担ってくださっている方や、備えは多角的に行いたいと思っている方々など、広く防災に関心のある県内全域の皆様とオンラインでつながり、被災後の様々な「生活再建支援制度」などについて学ぶセミナーを開催します。

和歌山イコール会議って、どんな団体？

2013年3月、和歌山県男女共同参画センター“りいぶる”主催で開催された「つながりを広げる交流会」などをきっかけに、13人の発起人(代表 松原敏美)が呼びかけ会員募集を開始、県内の様々な分野で活動する女性・趣旨に賛同する女性たち130人が集まり、同年12月1日、設立総会を開催、6部会の活動を始めました。会員が相互に力をつけながらネットワークをひろげ、元気にいきいきと生活できる和歌山をめざして活動しています。

会員活動の主体<6部会>

- ①地域づくり ②防災 ③働き方 ④子育て介護環境
- ⑤暴力防止 ⑥多様な生き方応援